

今日のトピック コロナ感染拡大で出遅れた世界の小型株 米欧の小型株は大きく出遅れ、アジアは堅調

ポイント1 世界の小型株は出遅れ 大型株主導の回復

- 世界の株式市場では、今年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、小型株のパフォーマンスが大型株を下回る動きが顕著です。世界株価指数（MSCI ACWI）をみると、3月にかけて急落後反発し、足元では年初来パフォーマンスが+0.9%と、昨年末の水準を上回るところまで回復しています。ただ、内訳をみると、大型株が同+1.7%であるのに対し、小型株は同▲6.2%と、大きく出遅れています。
- この背景は、小型株には内需関連銘柄が多く、コロナ感染拡大で消費が大きく落ち込んだことにあると考えられます。一方、大型株にはコロナ感染の影響で需要の高まった情報技術セクターなどの主要銘柄が含まれているためパフォーマンス格差が生じたとみられます。

ポイント2 アジアの小型株は堅調 米欧は大きく出遅れ

- 各国・地域の小型株の動向をみると、米国の小型株（同▲8.4%）や欧州（同▲7.3%）が大きく出遅れているのに対し、日本は小幅安（同▲2.3%）、アジアは同+4.5%の上昇と、アジアの堅調さが目立ちます。アジアは、コロナ感染が他地域に比べると抑制されている国が多く、小型株の相対的な高パフォーマンスにつながっている模様です。

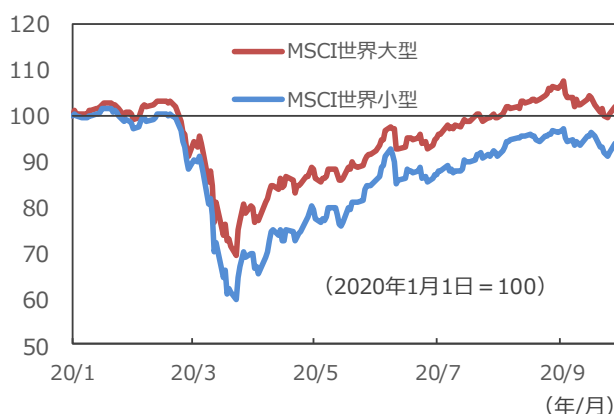
今後の展開 コロナ感染が落ち着けば小型株に資金流入も

- 9月に入りそれまで大きく買われてきた情報技術やIT関連の銘柄が調整したことに加え、欧州での感染再拡大などで世界経済の影響に左右されやすい自動車などの大型株にも買いが入りにくくなっている模様です。こうしたなか、ワクチン開発などによりコロナ感染の収束が視野に入れば、出遅れている小型株に資金が流入することが期待されます。

ここもチェック! 2020年9月14日 米国株式市場「ニューノーマルと2極化相場」
2020年9月 9日 急落した米国株式市場

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

【世界大型株指数と小型株指数】

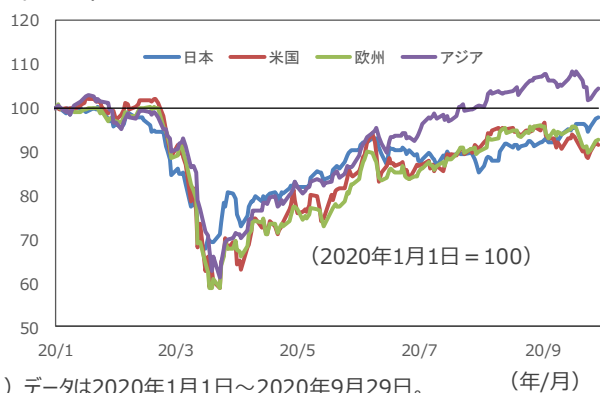


(注1) データは2020年1月1日～2020年9月29日。

(注2) MSCI世界株価指数（ACWI）。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【各国・地域の小型株の動向】



(注1) データは2020年1月1日～2020年9月29日。

(注2) MSCIの国・地域別指数。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成